




## リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立八条中学校（京都府）

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用①」

- クラウドを活用した一人一人の子どもが意見を出しやすい授業実践にチャレンジ、成果のあった取組と今後の課題について教職員間で共有する際にもクラウドを最大限活用した。
- 1学期は「共有」、2学期は「個別最適化」、3学期は「個別最適化」と「共有」をキーワードにした授業を実践し、教科を超えて交流することで、全教職員の授業力の向上を図った。

## （教職員間で共有した取組実践） ※一部抜粋

教科・学年	取組の様子	取組の内容 (どのような場面でICTを活用し成果があったか)	課題
美術 (3年)		<p>【取組】 印象派の絵画について、生徒が調べたこと、感じたことをクラウド上の共有ノートに書き込んでいった。</p> <p>【成果】 各自が調べた様々な情報や感じ方を共有できた。さらに、それを踏まえて、より踏み込んだ情報や感じ方を書き込んでいく生徒もいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒の意見ばかりに興味を持ち、自分の学習に向かない生徒もいた。</li> <li>評価にどうやってつなげていくか難しいと感じた。</li> </ul>
保健体育科 (1・3年)		<p>【取組】 ①器械運動の始めに、各自の目標（難しい技に取り組みたい、基本の技が上手になりたい等）に関する生徒アンケートを実施した。 ②器械運動の授業中に撮影を行い、クラウド上で共有した。</p> <p>【成果】 ①生徒も集約結果を確認でき、狙いをもって器械運動に取り組む意識付けにつながった。 ②生徒が好きなきときに自分の動きを確認したり、他者の動きを振り返ることができた。また、評価の際に指導者も見返すことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影に時間がかかり、実技の時間確保が短くなってしまった。</li> <li>端末の不調や、家に忘れてきた生徒の対応が必要となった。</li> </ul>
理科 (1年)		<p>【取組】 ①生物の分類の授業で、フィールドワークを行った後、身の回りの生物をどのような観点で分類できるかを班で話し合い、クラウド上の共有ノートで分類シートを作成した。 ②アサリの解剖を行う際、写真や気づいたことをレポートにまとめクラウド上で共有した。</p> <p>【成果】 ①②ともに、クラウド上で共有することで、互いの考えを交流したり、あとから振り返りを行う際に有用だった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットの操作に慣れるまでは支援が必要で時間がかかった。授業の中でスムーズに使えるように指導していきたい。</li> </ul>